



2学期を迎えるにあたって（2学期始業式より）

校長 佐伯 英徳

35日間の夏休みが終わりましたが、有意義な日々を送ることはできましたか。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されている中、マスクや手指消毒等の感染症対策を徹底するとともに、熱中症にも気を付けながら様々な活動に取り組んだと思います。特に、部活動では、女子バレーボールや野球、サッカーの狛江杯が開催され、吹奏楽部が2年ぶりの開催となった東京都中学校吹奏楽コンクールに出場しました。思うような準備が出来なかったかもしれませんが、何事にも前向きに取り組む四中生らしさを発揮してくれたと思っています。緊急事態宣言の方は9月12日まで延長されています。引き続き感染症予防対策を確実に行うとともに、9月も平年より気温が高い予想が出ていますので、熱中症にも十分に注意して活動してください。

ここで「東京2020オリンピック競技大会」の話をします。

第32回オリンピック競技大会東京大会が19日間の全日程を終えて8月8日の閉会式で幕を閉じました。そして、8月24日より東京2020パラリンピック競技大会が引き続き無観客で開催されており、狛江市としての学校観戦も中止となっています。開催までの道のりは決して平坦ではなく、2013年9月に2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定し開催



に向けた準備が進められていく中で様々な問題等が発生しました。極めつけは新型コロナウイルスであり、世界的な感染拡大により開催が1年延期されました。その後も感染等の状況は厳しく東京五輪の中止を求める声も増えていく中、首都圏の会場における無観客での開催となりました。学校では2016年からオリンピック・パラリンピック教育に取り組みオリンピック・パラリンピックの意義等についての学習を進めてきました。残念ながら聖火リレーの見学や競技観戦は実施できませんでしたが、テレビ観戦を通して、国籍や人種等の違いを超えて競い合い、認め合うスポーツマンシップからたくさんの感動をもらったのではないのでしょうか。競技後のインタビューで聞かれた様々な「感謝の言葉」の中で、「ボランティアの人たちが温かく迎えてくれて試合前に拍手をもらい自国開催の幸せをかみしめました」という言葉が印象に残っています。緊急事態宣言下での開催の是非については様々な意見がありますが、33競技339種目が無事に実施できたスポーツの祭典としては記憶に残る大会であったのではないかと考えています。

今日から2学期が始まります。3年生にとっては、中学校生活も残すところ、あと7ヶ月、卒業式まで、あと135日です。進路決定に向けて、悔いの残らないよう、一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。1、2年生にとっては、いよいよ、みなさんが、この狛江四中を動かしていく番になります。9月16日には、生徒会役員選挙が行われ、7名の新役員が決まります。選ばれた新しい生徒会役員の人たちが中心となり、四中の良き伝統を引き継ぎ、自分を信じ、仲間を信じ、互いを認め合いながら成長していき、生徒全員が四中生であることに誇りを持てるような学校を作りたいと強く願っています。

夏季 部活動の様子と大会結果

夏休み期間中、コロナ感染と熱中症に注意しながら元気に部活動を行い大会に参加しました！



女子バレーボール部

多摩地区中学校バレーボール大会 準優勝
狛江市立中学校スポーツ対抗戦 優勝



美術部



男子バスケットボール部



野球部

狛江市立中学校スポーツ対抗戦
4中 6-11 1中・2中合同



合唱部



女子バスケットボール部



サッカー部

狛江市立中学校スポーツ対抗戦



吹奏楽部

東京都中学校吹奏楽部コンクール
銅賞



水泳

※ HP用の学校だよりには、8・9月の予定表が掲載してありません。